

**YAMAHA****グリップウォーマー  
取付・取扱説明書****適応機種  
XP530(TMAX)BX3**

はじめに

工数：1.5h

## ❑お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい取付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が取り付けることを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に取り付けを依頼してください。本書は、車両の取扱説明書および本品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。車両を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

## ❑販売店様へ

本製品の商品説明および取扱上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取り付けに際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい取り付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

**警告** 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

**注意** 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

**要点** 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。



ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

**構成部品**

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

No.	品名	部品番号	数量	備考
①	グリップウォーマー左	BC3-82963-00	1	
②	グリップウォーマー右	BC3-82960-00	1	
③	バンド	90465-10098	1	
④	クランプ	90464-25009	2	

**要点**

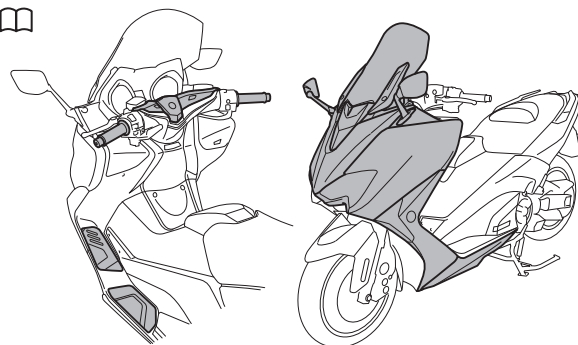
- キット以外の部品は、スタンダード車の部品を再使用します。
- 取り外した部品で再使用しない部品は、スタンダードに戻すときに必要となりますので大切に保管してください。

**取付方法****警告**

- バッテリーの⊖端子を外してから作業を行ってください。
- 各スクリュー・ボルト・ナットは、サービスマニュアルに記載されているトルク値で確実に締め付けてください。走行中に部品が緩んだり外れたりすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。☒

1. 下記のスタンダード車の部品を取り外します。(右図のグレー部品) ☒

- ・スクリーン
- ・カバーフロント
- ・パネルインナ 2
- ・マット 1/2/3/4
- ・モールサイドカバー 1/2
- ・パネル 1/2
- ・バックミラーアセンブリ(L/R)
- ・プレートウインドシールド 1/2
- ・ボディカウリング,2(ヘッドライトごと)
- ・カバー,ハンドルアッパ 1  
(パネルインナ 1(メーターごと)を外すと作業がしやすくなります。)
- ・グリップアセンブリ、グリップL、エンドグリップ



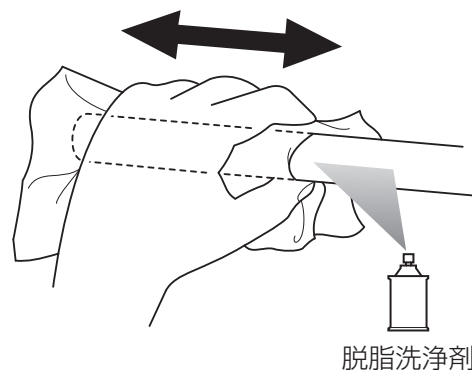
※イラストは車両左側ですが、右側も同様に取り外します。

**警告**

スロットルケーブルをプライヤー等で無理に外さないでください。無理に外してケーブルが折れ曲がると、スロットルが作動不良を起こし、思わぬ事故につながる恐れがあります。取外方法はサービスマニュアルを参照してください。

## ■ 左側ヒーターの取り付け

1. 車両の左側グリップ内周面に脱脂洗浄剤を塗布し、左側グリップを取り外します。📖
2. ハンドルバーに付着した接着剤を脱脂洗浄剤で拭き取ります。



接着剤が乾かないうちに作業するために、取付方法3~5の作業内容を把握してから、素早く作業をしてください。

3. 接着材をグリップウォーマー左①の孔周辺に塗布します。

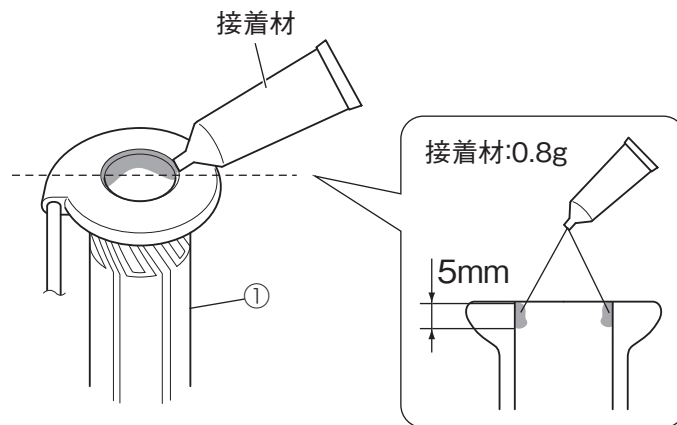
### ⚠ 警告

グリップの接着は、グリップボンド (Q5K-YSK-063-Y12) 相当を使用してください。接着不十分により走行中にグリップウォーマーが外れる恐れがあります。また、思わぬ事故につながる恐れがあります。

4. 脱脂洗浄剤をグリップウォーマー左①内周面とハンドルバー外周面に吹き付けます。

### 要 点

脱脂洗浄剤を吹き付けると作業しやすくなります。



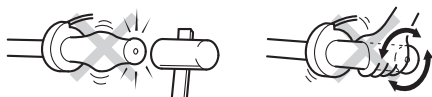
5. グリップウォーマー左①を右図を参考にして車両に取り付けます。

### ⚠ 警告

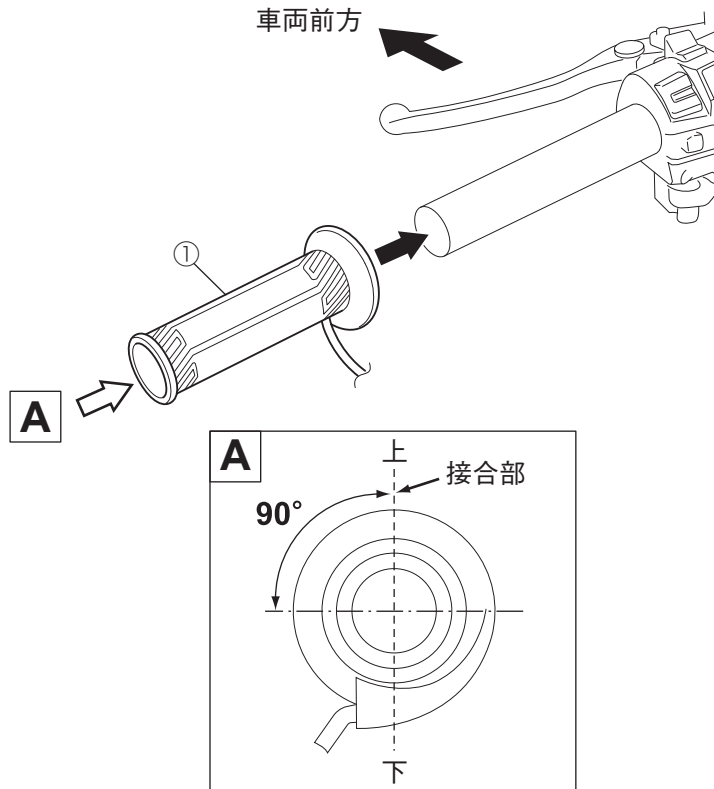
接着から1時間以上乾燥させて、確実に接着しているか確認してください。接着不十分により走行中にグリップウォーマー左①が外れると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

### 注 意

グリップウォーマー左①を挿入するとき、グリップエンドをハンマーでたたいたりグリップを強くねじったりしないでください。製品が損傷する恐れがあります。万一、グリップウォーマー左①が途中で入らなくなった場合は、グリップウォーマー左①とハンドルバーとのすき間に脱脂洗浄剤を塗布して取り外してください。このとき、無理にリード線をドライバーなどでこじらないでください。断線する恐れがあります。

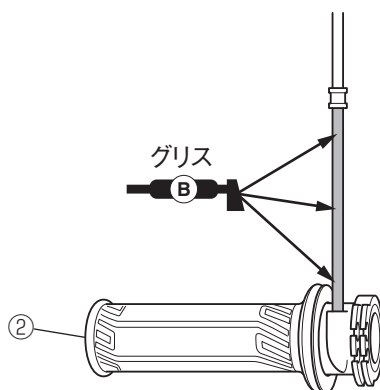


車両前方

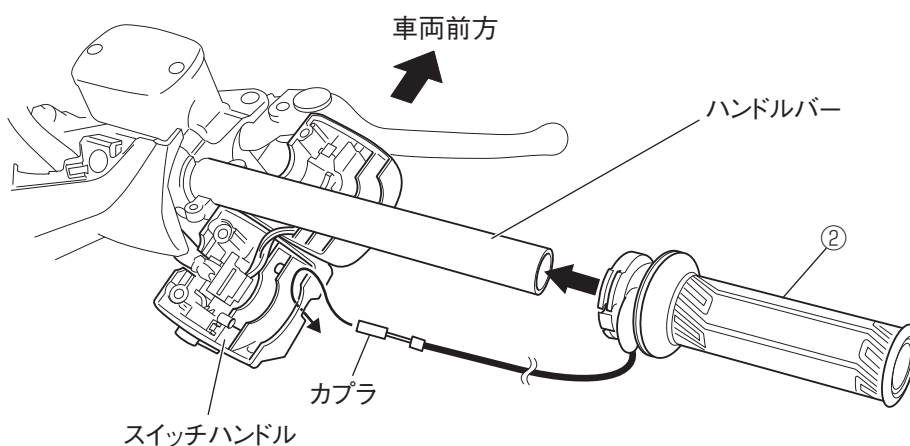


## ■ 右側ヒーターの取り付け

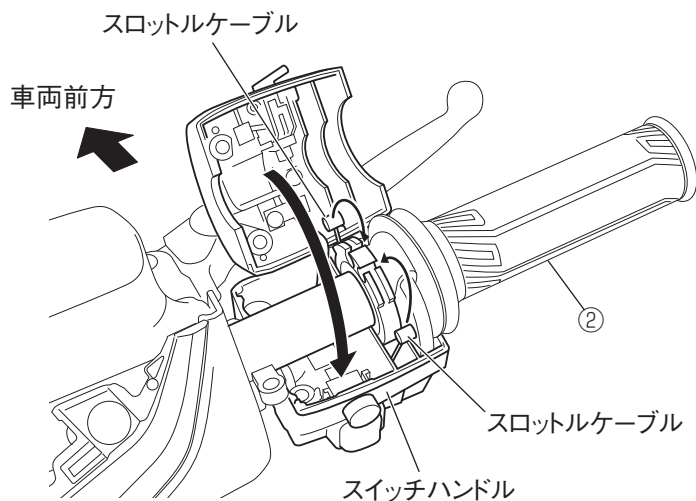
1. グリップウォーマー右②の配線にグリスを塗布します。（下図参照）



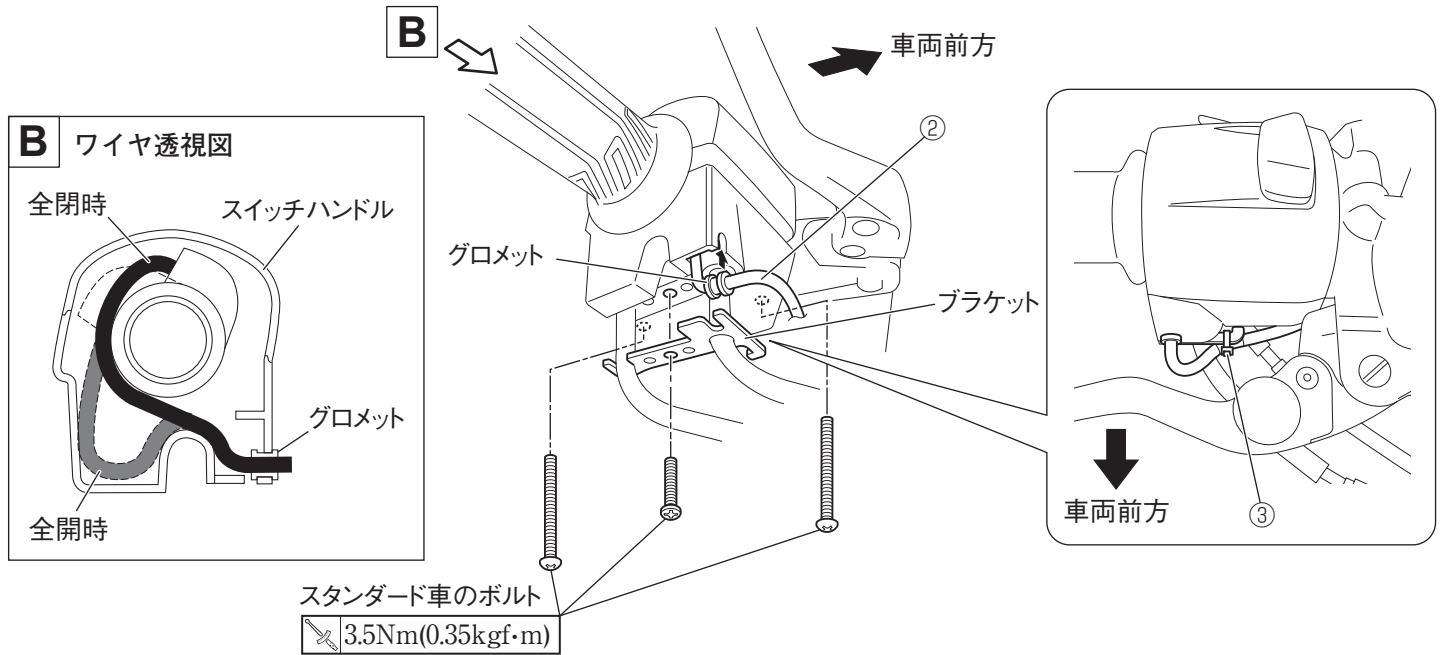
2. グリップウォーマー右②のカプラをスイッチハンドルの孔に通し、グリップウォーマー右②をハンドルバーに取り付けます。



3. スロットルケーブルをグリップウォーマー右②に取り付け、スイッチハンドルを閉じます。



4. グリップウォーマー右②の配線に付いているグロメットをスイッチハンドルの溝にはめ、スタンダード車のブラケットを使用してスイッチハンドルを固定します。
5. グリップウォーマー右②の配線をスタンダード車のブラケットにバンド③で固定します。



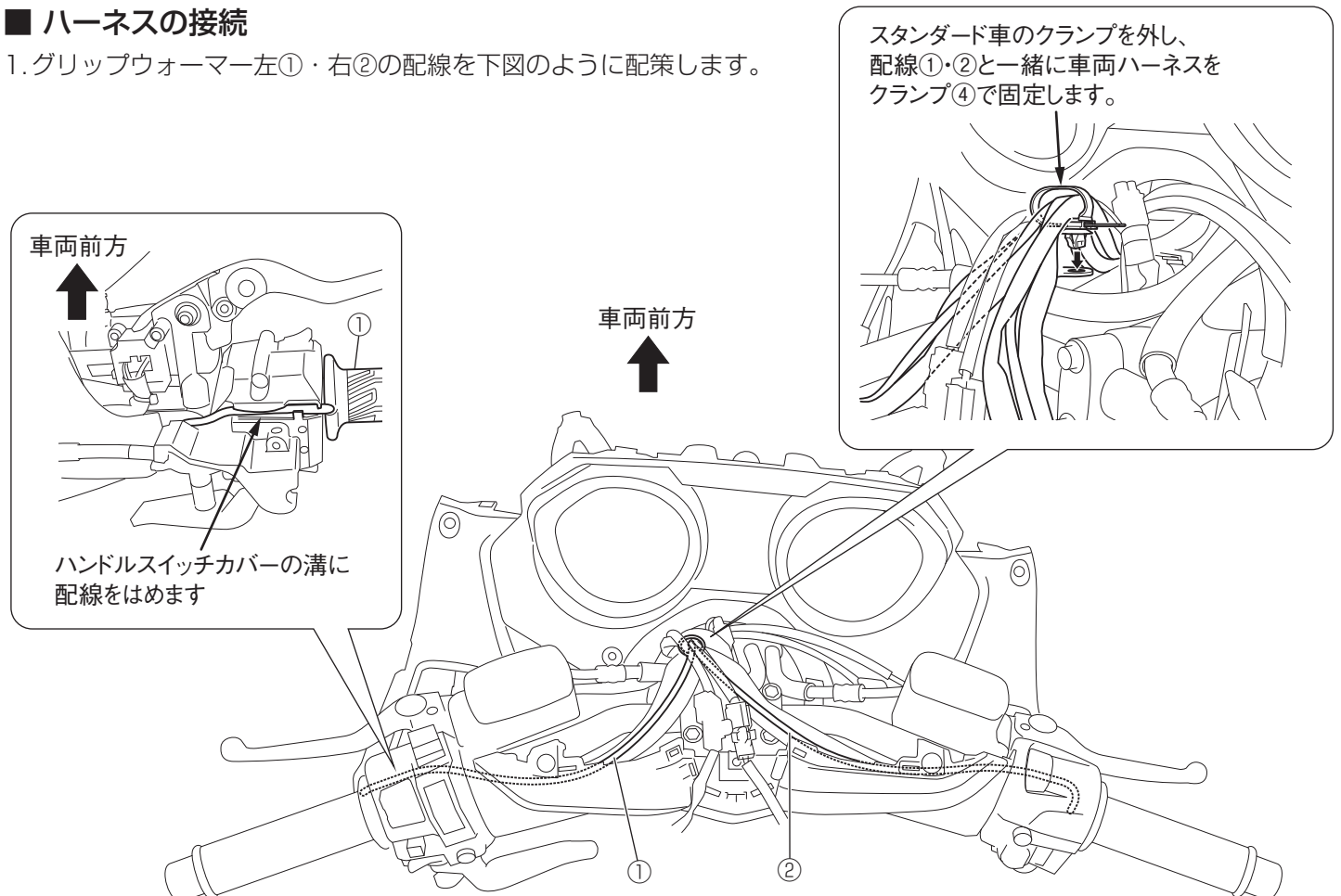
6. スタンダード車のエンド、グリップを取り付けます。
7. スロットルの開閉確認をします。☐

**⚠ 警告**

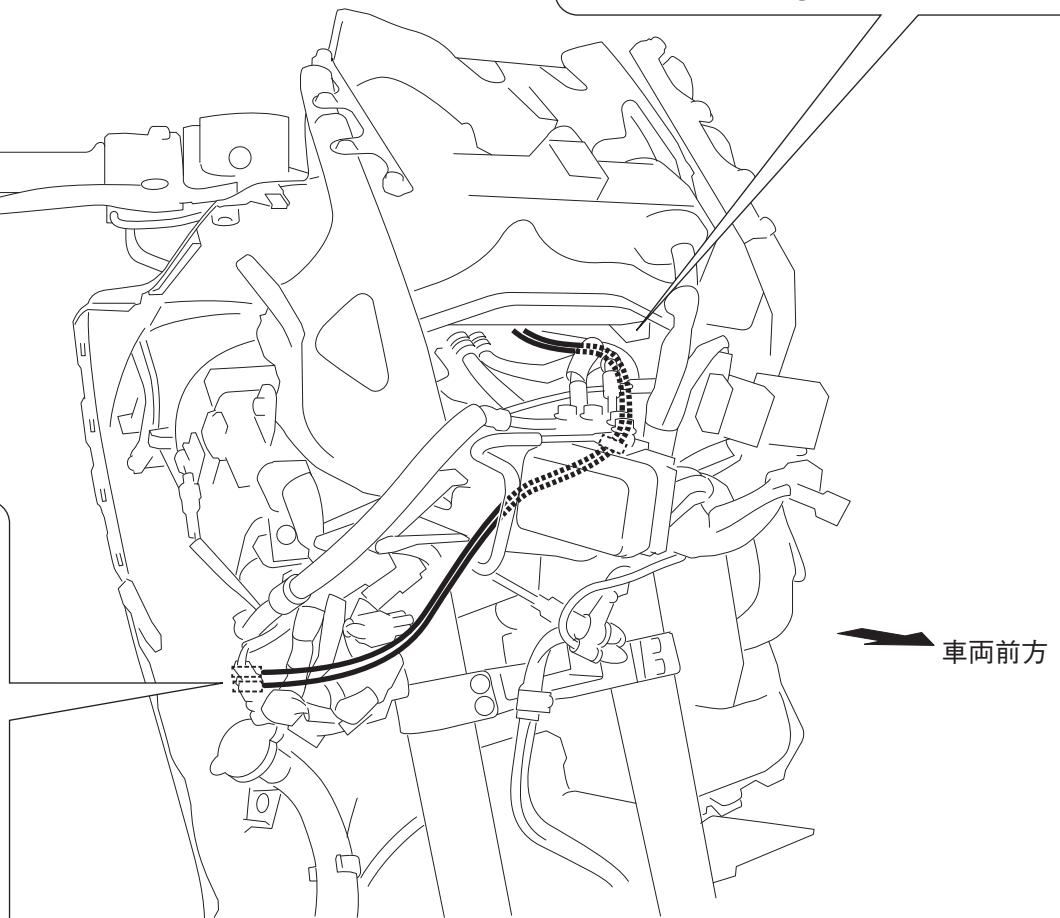
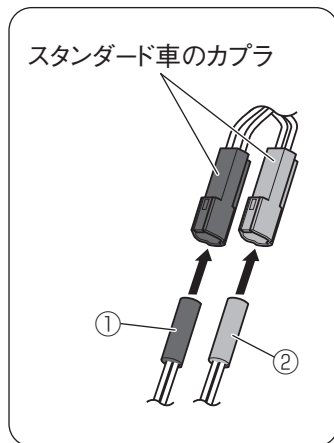
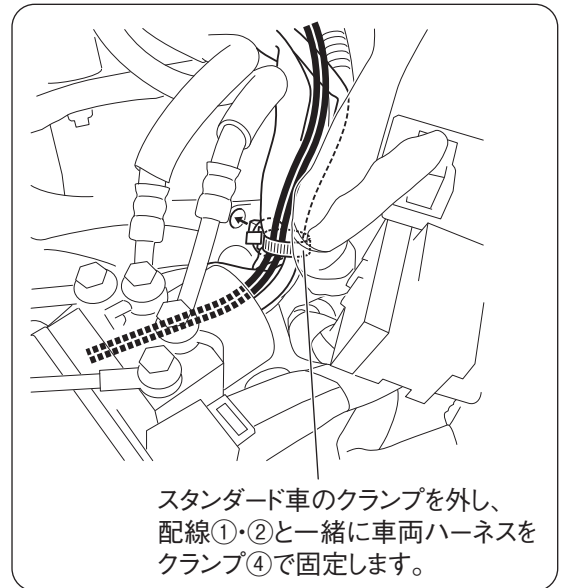
スロットル開閉時に、引っ掛かりなどの作動不良がないか必ず確認してください。走行中にスロットルが正常に動かないと思われぬ事故につながる恐れがあります。

**■ ハーネスの接続**

1. グリップウォーマー左①・右②の配線を下図のように配策します。



2. グリップウォーマー左①・右②の配線を下図のように配策し、車両カプラと接続します。



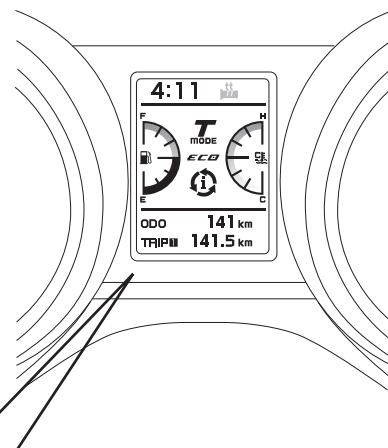
3. 取り外した車両部品と⊖端子を付け直します。🔌

# 取扱方法

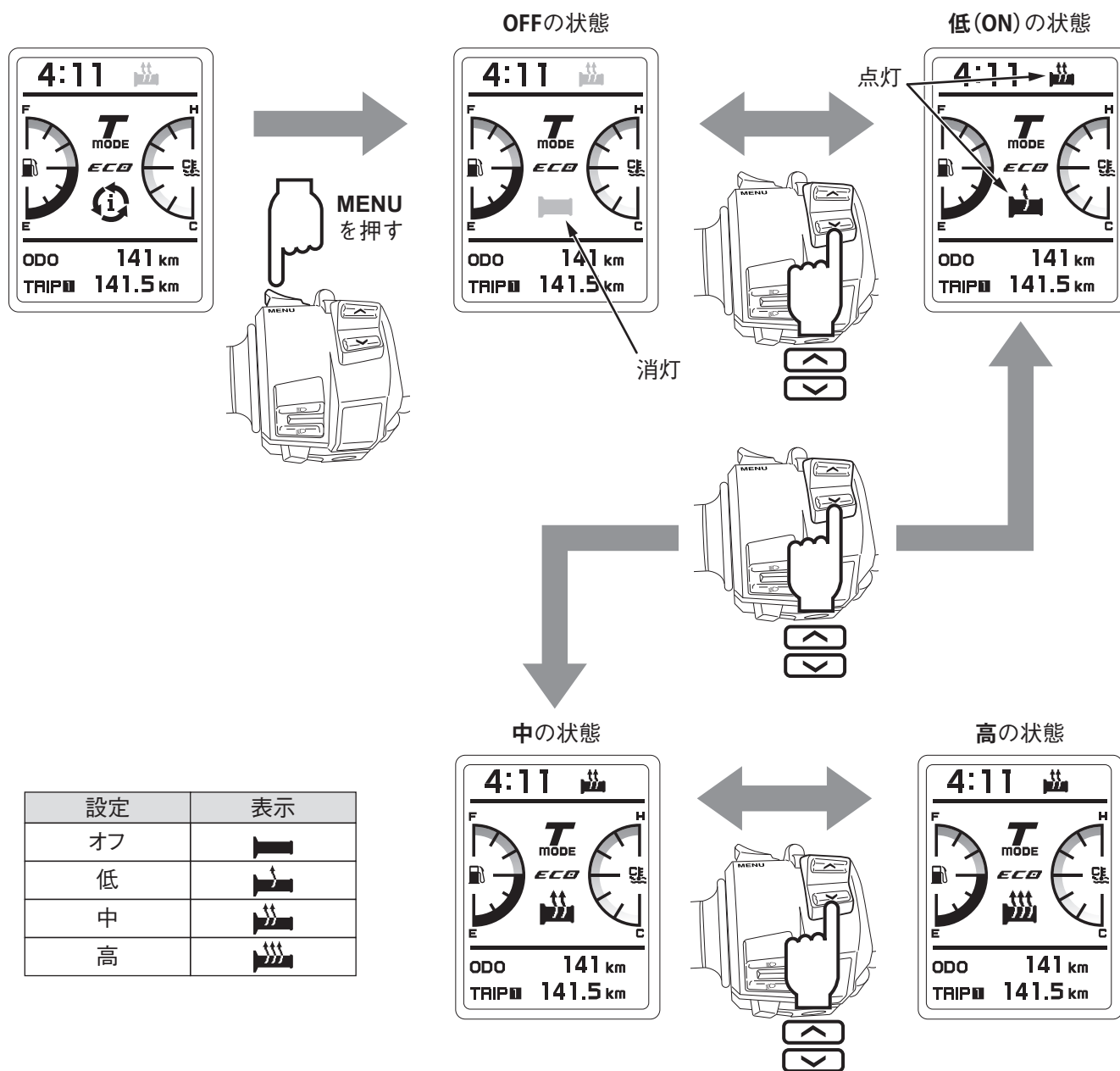
グリップウォーマーのON/OFFや温度調節は、車両のスイッチで行います。

## 要 点

メーター内のグリップウォーマー操作メニューは、グリップを車両のハーネスに接続することで表示されます。メニューが表示されない場合は車両側ハーネスとの接続確認、グリップウォーマー単体の導通を確認してください。グリップウォーマーの配線が断線した場合、操作メニューは表示されなくなります。



▲ または ▼ を押しごとに温度が変わります。





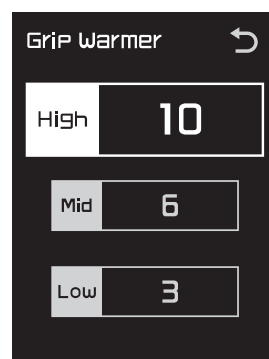
## ■ 温度レベルの調節 車両取扱説明書(BX3-28199-\*\*)参照

グリップウォーマーの“High”“Mid”“Low”の温度設定を10レベルで設定できます。

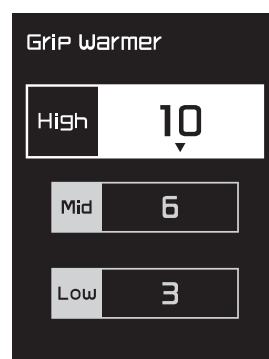
### 要 点

- このモードで設定を変えるときは、車両は停車していなければなりません。
- 発進もしくは車両の電源をOFFにすると、設定が記憶されて保持されます。

1. メニュースイッチ“MENU”を2秒以上押し続けると、設定モードに入ります。設定モードを終了して通常の表示に戻すには、メニュースイッチ“MENU”を再度2秒以上押し続けてください。
2. セレクトスイッチ“ $\wedge$ / $\vee$ ”を使用して、“Grip Warmer”をハイライト表示させます。
3. メニュースイッチ“MENU”を押します。グリップウォーマー設定表示内の“High”が点滅します。



4. メニュースイッチ“MENU”を押します。highに対応する温度の設定値が点滅を始めます。セレクトスイッチで設定温度を決め、“MENU”スイッチを押して確定します。“High”が点滅を始めます。
5. セレクトスイッチを使用して“Mid”または“Low”をハイライト表示させてから、highと同様の手順で設定を行います。
6. 設定の変更が終わったら、セレクトスイッチを使用して“ $\curvearrowright$ ”をハイライト表示させてから、メニュースイッチ“MENU”を押して設定モードメニューに戻します。



### 要 点

この設定では、温度を10レベルで設定できます。

## 取 扱 上 の ご 注 意

### ⚠ 警 告

グリップウォーマーの設定変更をする前に、必ず車両を停止してください。走行中に設定の変更を行うと、操作に気をとられ事故を起こす恐れがあります。

### 注 意

- グリップウォーマーを使用する場合は、必ずグローブを着用してください。
- 外気温が20℃以上の場合、グリップウォーマーを高設定に設定しないでください。
- ハンドルバーグリップまたはスロットルグリップが摩耗したり破損したりした場合は、グリップウォーマーの使用を止め、グリップを交換してください。

乗車前に各部に緩みガタがないことを確認してください。

### 輸入・販売元

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0570-050814

オープン時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日を除く)

9:30～12:00 13:00～17:00

○一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。

○IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187